

- 開催日時 令和3年2月5日(金)午後2時から
- 開催場所 大阪府咲州庁舎41階大会議室
- 出席委員 梶原委員、蔵治委員、鍋島委員、藤田委員、増田委員 以上5名(五十音順)

■審議議事要旨

□令和元年度までを徴収期間とする森林環境税による森林環境整備事業の実施状況について

○平成28年度から令和元年度までを徴収する森林環境税による整備は、今回示していただいた計画で基本的には終了と考えてよいか。

⇒工事が続いている箇所もあり、変更が生じる可能性もあるが、現時点ではこれが最終となる。

○終了する森林環境税事業の評価について今年の6月ごろと考えてよいか。

⇒そのとおりです。

□令和2年度以降を徴収期間とする森林環境税による森林等環境整備事業の実施状況及び令和3年度実施予定について

(都市緑化を活用した猛暑対策事業)

○WBGTが、2度から3度低下の報告がありますけれども、現地で実際にアンケートをされていて、80%とか90%の人が涼しくなったと感じられているということは、そのWBGTの差よりも実際には涼しく感じているのではないか。

○アンケートで、資料の最後の案件だけ涼しくなったという回答が5割を切っている。他の案件は8割とか9割あるのに、なぜそのような結果となっているのか。

⇒本案件は、福祉センター前のバス停で、高齢者、特に70歳以上の利用者が4割以上であることが影響しているのかもしれない。正確な理由はわからない。

○WBGTを測定された日の気温に比べてアンケートを取った日の気温が著しく低いように思う。気温に大分差があることによって、WBGTの評価とアンケートの評価というのは大分違うようないで、同じような気温条件でやったほうがいい。

⇒WBGTの測定とアンケートの実施を同時にやれば理想的だったが、測定時期が7月、8月で、アンケート実施が9月に入ったということもあり、この点で委員指摘の気温の差がかなり出ている。残りの箇所(17箇所)は、今年の夏に測定いただくので、できるだけ気象条件が違いのないように事業者へ指導する。

○4箇所は、今年8月の猛暑日、32度、33度を越えた日に再度アンケートの実施をお願いするということは可能か。

⇒事業者と調整させていただく。

- その場所をよく利用するかどうかという質問項目があったような気がするが、よく利用される人は、夏場を通して涼しくなったというふうに答えてくれていると捉えていたが。  
⇒利用者の多い方と初めての方と分けて話を聞いておりました、利用者の多い方の8割の人がこの対策は効果があって、涼しく感じていただいているというデータが出ている。
  
- 初めての方と継続利用されている方で効果の認識の仕方というのは違う数値になっているのか。  
⇒それぞれによってのクロス集計をしておくべきだったが、その分けた部分での涼しく感じた方の整理ができていなかったのもので、その点、次回に説明できるように準備させていただく。
  
- サンプル数がないので、あまり分けていくと、要するに非常に少数のデータの平均値みたいになってしまうので、注意いただきたい。(要望)
  
- バス停の猛暑対策事業につきまして、プランターを置かれることによって通路が狭くなっているというようなことが今後も起こり得るので、広くないところにプランターを設置する等々については、十分その幅員というか、幅といったようなところも、事前協議の段階で、バリアフリー法との関わりも含めて調整をしていただきたい。(要望)
  
- 緑化に関して、今年も20から30箇所を予定していたのが20箇所ということですので、かなり先送りになるのか、予定件数を確保していけるようなことなのか、少し注意をしないと、今年度も3分の2、来年度も3分の2になっていくと、最終年度に処理しきれなくなると思うので、よろしくお願ひしたい。(要望)